

# 平成31年度(令和元年度)「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	東淀川区
学 校 名	大阪市立菅原小学校
学校長名	岡田 香子

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語・算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

### (2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・菅原小学校では、第6学年 119名

## 平成31年度(令和元年度)「全国学力・学習状況調査」結果の概要

算数科においては、平均正答率が昨年度に比べて改善されてきているが、国語科では、全国正答率より10ポイント以上下回っている。記述式の問題形式よりも短答式、選択式の方が正答率が低くなっており、読み取りの力の弱さが表れた結果となった。

平均無解答率については問題に対して粘り強く取り組む姿勢が身につく、全国平均を大きく下回ることができている。特に算数科において、よりはやく簡単、正確に解く方法を考えようとする児童が増えているといえる。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕各領域において全国平均、大阪市平均を下回っており、特に「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」「読むこと」の正答率が低いといえる。読書に関しては学校全体として力を入れており、読書習慣を身に付ける取組をあらゆる機会を見つけて行っている。その結果、質問紙「読書が好き」の質問に対し肯定的に回答する児童の割合は昨年度と変化はなく一定の効果はあったといえるが、読書が深い読みには至っていないことがうかがえる。

〔算数〕「学校力UPベース事業」の習熟度別少人数授業を確実に実施できており、昨年度同様「図形」領域の正答率は全国平均を1.9ポイント上回ることができた。一方、「量と測定」領域は10ポイント以上下回っており、数学的な考え方の基本が身につけていないことがわかる。学力向上モデル推進事業での研鑽を生かし、「主体的・対話的で深い学び」を中心に据えた授業づくりに取り組んでいく。

質問紙調査より

「学校のきまりを守る」「いじめはいけない」という設問においては80～90%の児童が肯定的な回答をしているが、「当てはまる」という回答の割合が昨年度同様低く、課題が残る。校内での様子は比較的落ち着いているにもかかわらず「自分には良いところがある」という設問の肯定的回答が約60%という結果からも、自尊感情向上の取組に一層励んでいく必要がある。

## 今後の取組(アクションプラン)

一昨年度から算数科を研究教科とし、また昨年度より大阪市の学力向上推進モデル校に指定された経過があり、教員の授業力の向上が今年度の本調査における算数科の結果の改善に表れたものと考えられる。特に「図形」領域では全国平均を上回っており、ICT機器の活用や習熟度別少人数授業の定着などの成果が上がってきた。

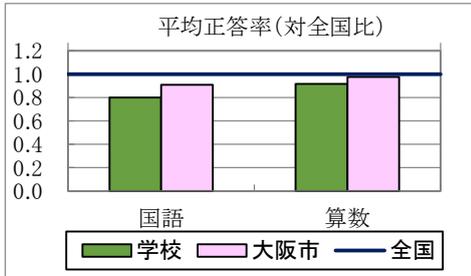
国語科については、言語力の向上が必須であることに変わりないことは今回の調査結果をみても明らかである。問題の意図が読み取れていない児童が多く、それは算数科でも共通している。振り返りプリントやwaku×2.com. bee等をこれまで以上に活用し、繰り返し基礎・基本の定着を図る。

また、自分の良いところに気づくための「素敵な自分カード」の取組も継続し、少しずつではあるが向上してきている自尊感情をさらに育むよう努める。

# 【 全体の概要 】

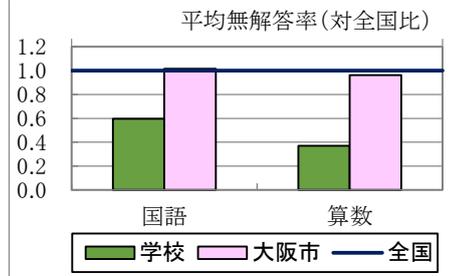
## 平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	51	61
大阪市	58	65
全国	63.8	66.6



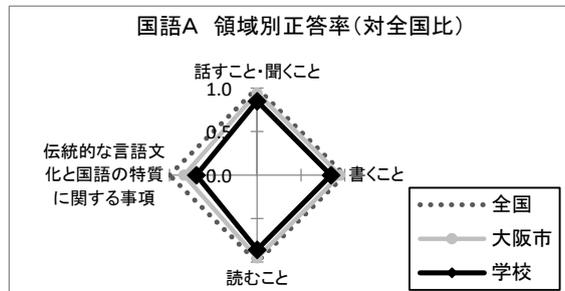
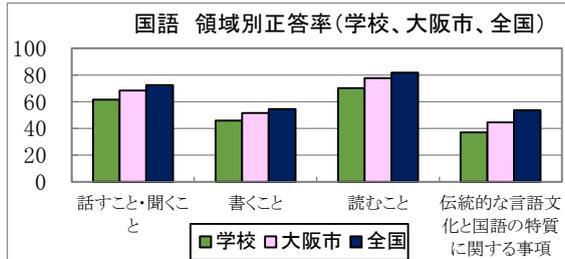
## 平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	3.7	1.0
大阪市	6.3	2.6
全国	6.2	2.7



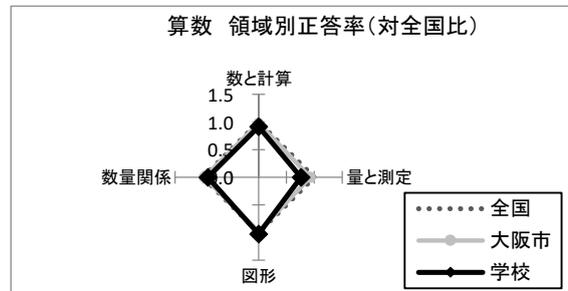
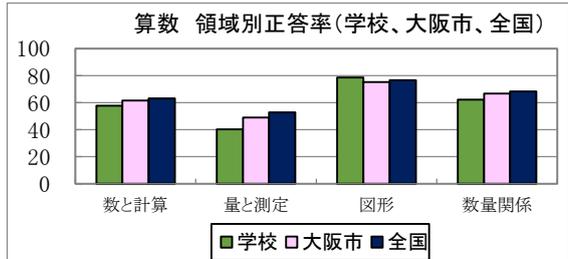
## 【 国 語 】

学習指導要領の領域等	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
話すこと・聞くこと	3	61.5	68.3	72.3
書くこと	3	45.9	51.5	54.5
読むこと	3	70.1	77.7	81.7
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	5	37.1	44.6	53.5



## 【 算 数 】

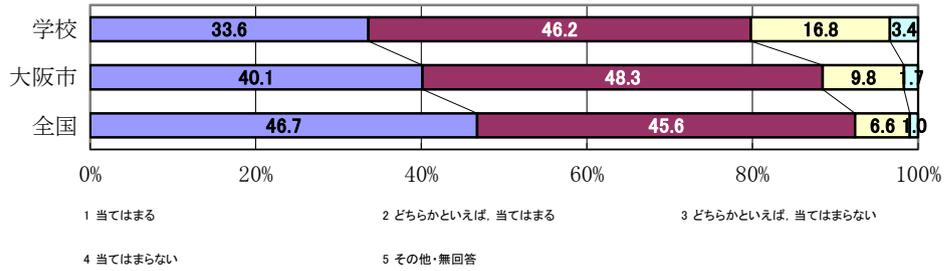
学習指導要領の領域等	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
数と計算	7	57.8	61.7	63.2
量と測定	3	40.2	49.0	52.9
図形	2	78.6	75.3	76.7
数量関係	7	62.3	66.7	68.3



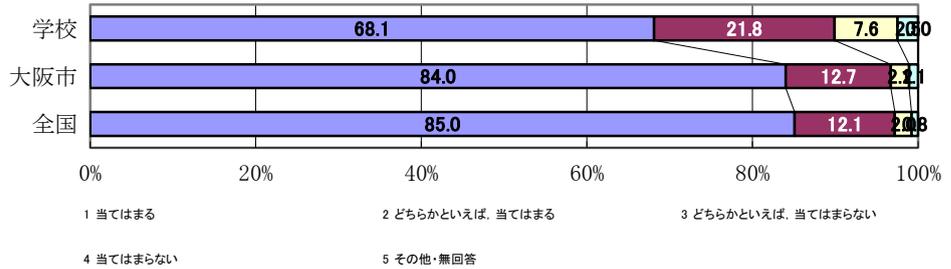
# 児童質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

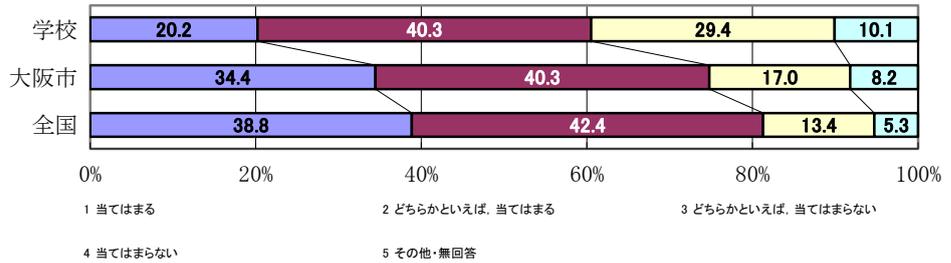
質問番号
質問事項
13
学校のきまりを守っていますか



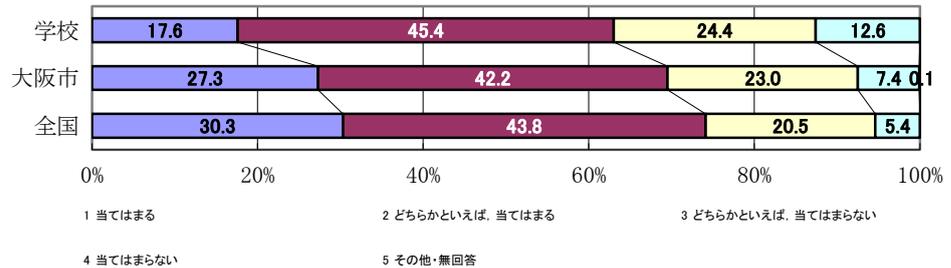
15
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



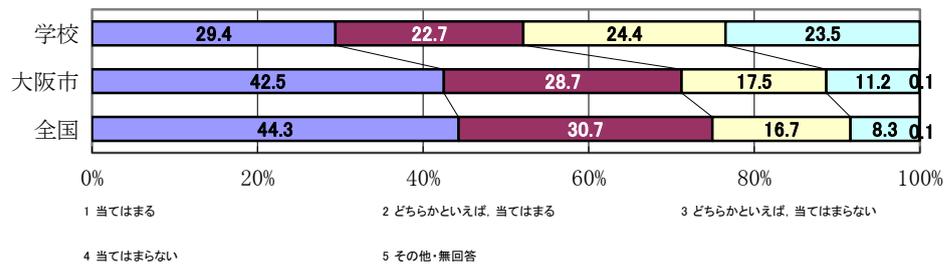
5
自分には、よいところがあると思いますか



29
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



21
読書は好きですか



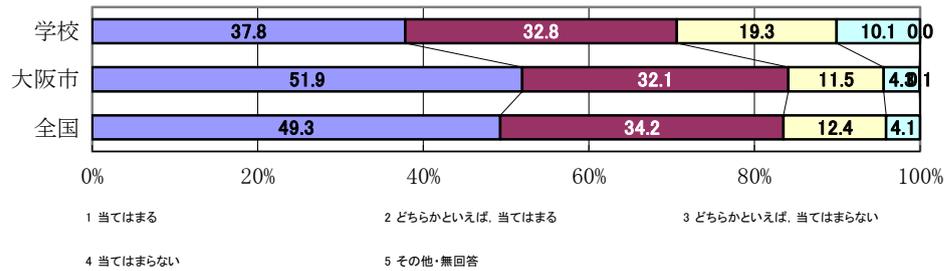
# 児童質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号  
質問事項

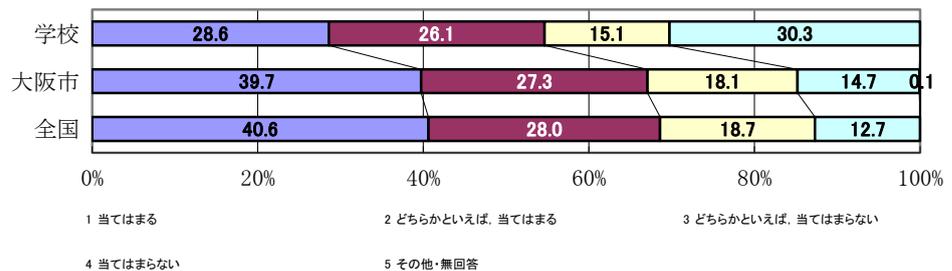
48

算数の授業の内容はよく分かりますか



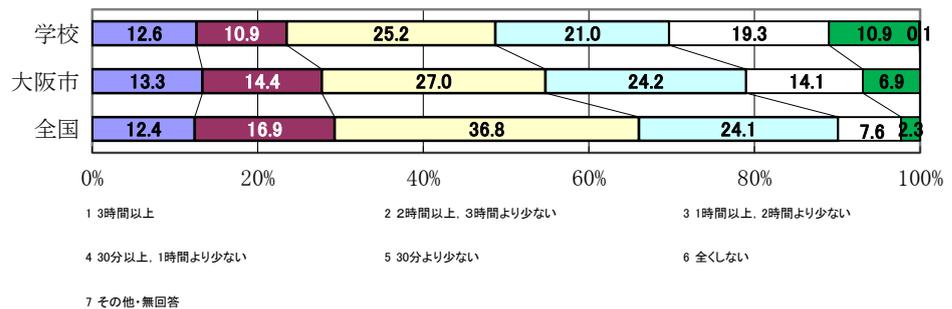
46

算数の勉強は好きですか



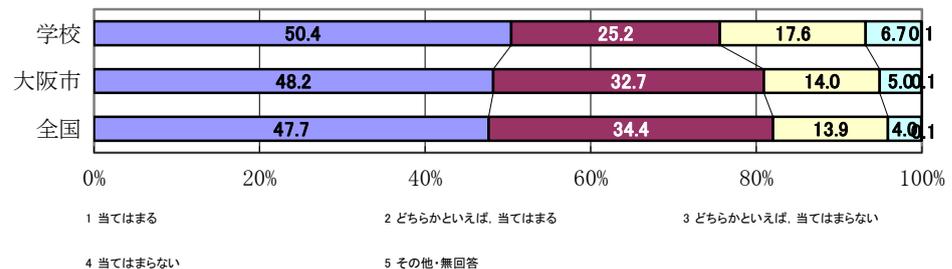
18

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



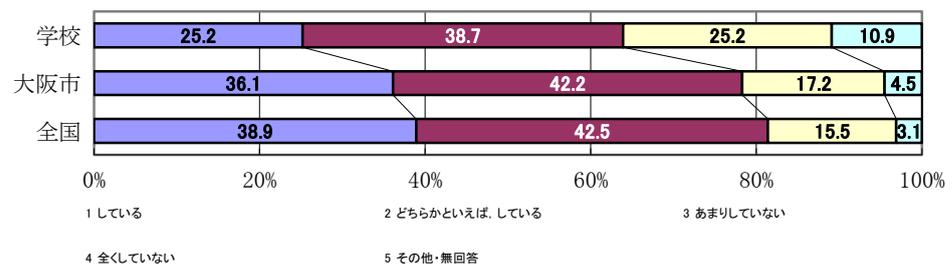
53

算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか



2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

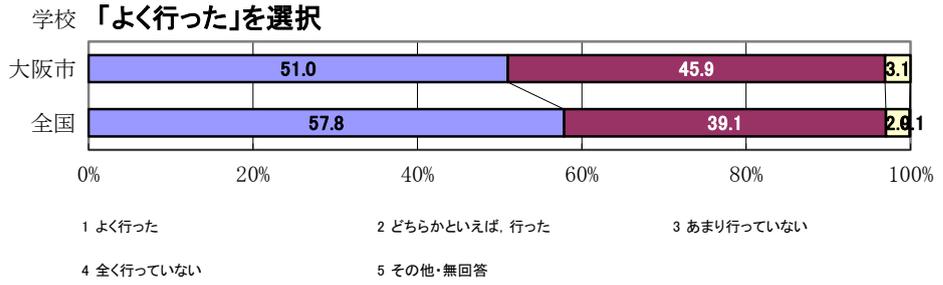


# 学校質問紙より

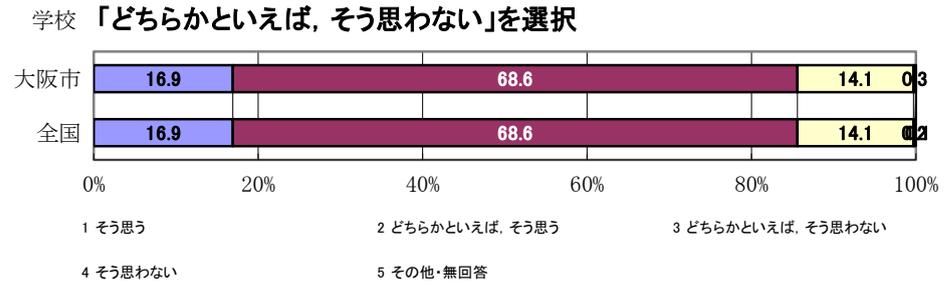


質問番号
質問事項

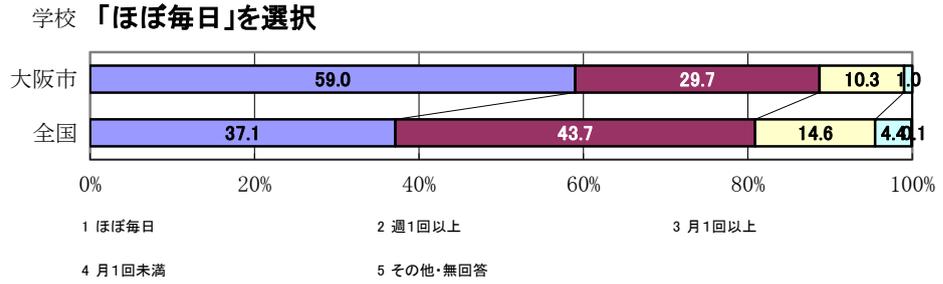
13
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか



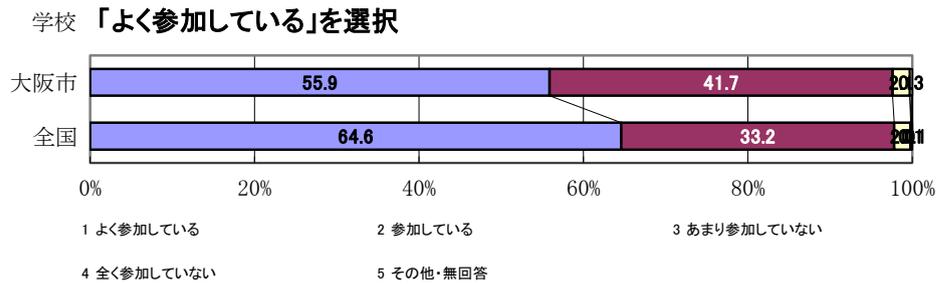
32
調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか



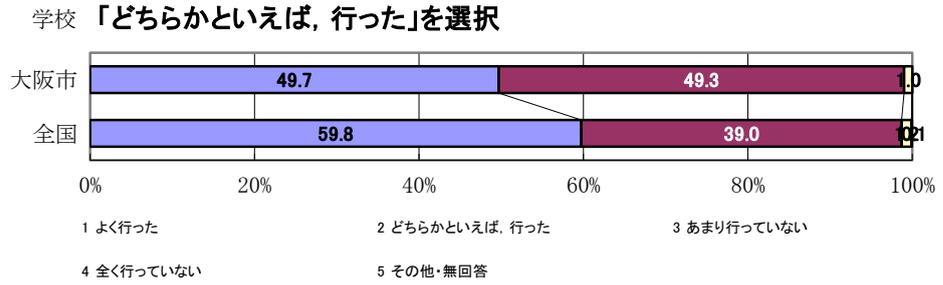
49
調査対象学年の児童に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか



56
保護者や地域の方が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか



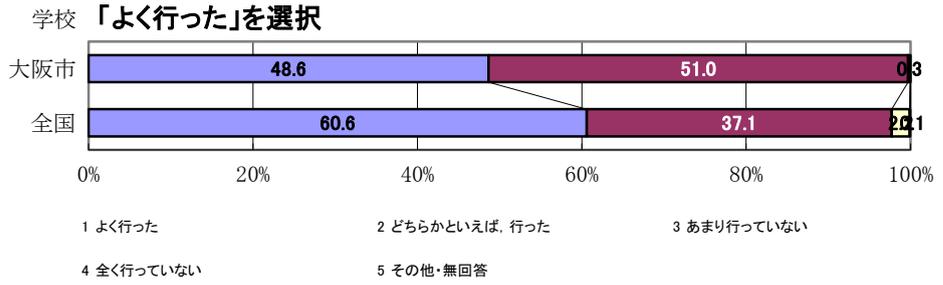
14
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか



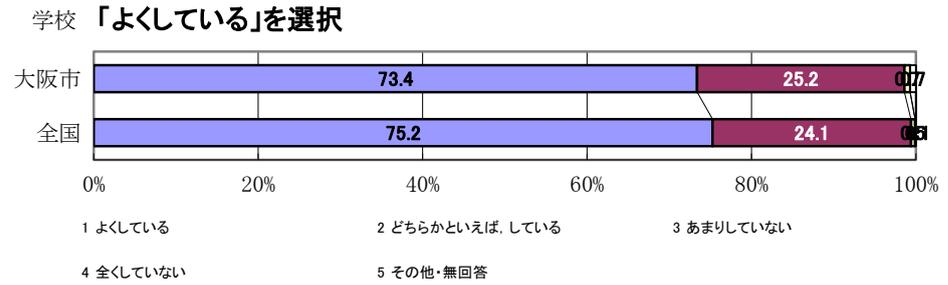
# 学校質問紙より



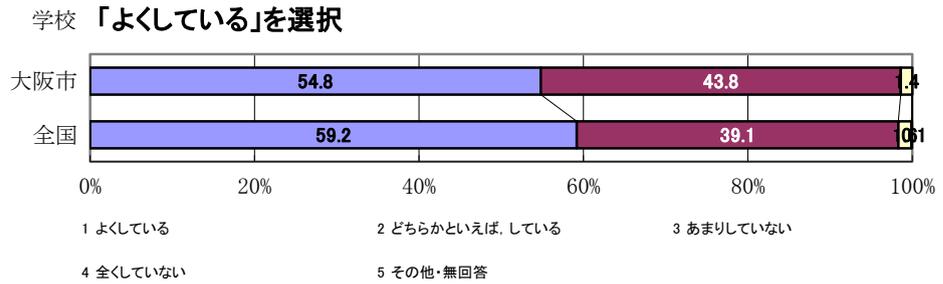
質問番号
質問事項
48
調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか



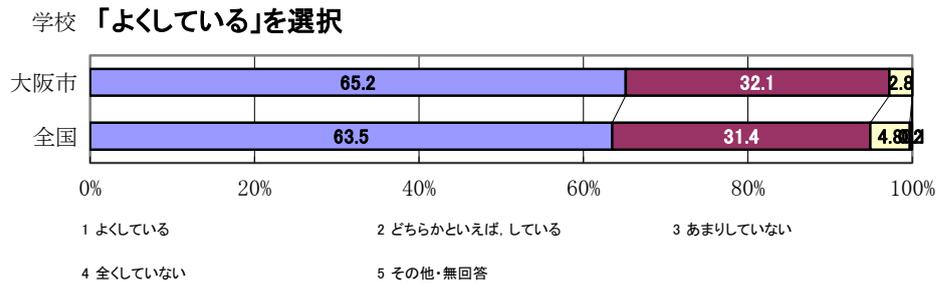
24
授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか



30
学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか



23
学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか



26
個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか

